



国際ロータリー 第2570地区 新座ロータリークラブ会報 2021～2022年度

第1802号

NIIZA Rotary weekly

令和4年6月23日 発行

国際ロータリー会長 シェカール・メータ 『奉仕しようみんなの人生を豊かにするたに』

第2570地区ガバナー 水村 雅啓 『もっと夢を もっと奉仕を』

会長方針 鈴木 明子 『未来に向かって もっと前進しよう』

会長 鈴木 明子 副会長 松岡 昌宏 幹事 森 克巳



第2173回例会 6月第1週 6月2日(木)

講演会 『第10回 薬物乱用のない社会をつくるために！』

講師：NPO法人 埼玉ダルク 辻本 俊之氏

於：新座市立第二中学校



開会の言葉

大友幹太郎



これから、薬物乱用防止教室を始めます。
薬物乱用防止を自分こととしてとらえ、真剣
に学習しましょう。

講演「第10回 薬物乱用のない社会をつくるために！」

日 時 2022年6月2日（木） 13時45分～14時55分
 場 所 新座市立第二中学校体育館 3年生356名のみ対面参加
 1・2年生640名は各教室でのリモート参加
 〒352-0011 新座市野火止7-17-10 【TEL】 048-477-1212
 議 題 「薬物乱用のない社会をつくるために！」
 講 師 NPO法人 埼玉ダルク 施設長 辻本 俊之氏
 主 催 新座ロータリークラブ・新座こぶしロータリークラブ・新座市立第二中学校
 後 援 新座市・新座警察署・新座市教育委員会

タイムスケジュール

（敬称略）

	司会進行	新座市立第二中学校生活委員会	
13:45	開会の言葉	新座市立第二中学校生活委員会副委員長	大友幹太郎
	主催者挨拶	新座こぶしロータリークラブ会長	山田 一郎
	来賓挨拶	新座警察署生活安全課長	阿部 俊司
	来賓紹介	新座市立第二中学校教頭	村石 和久
	講師紹介	新座市立第二中学校教頭	村石 和久
14:00	講演 演題	「第10回 薬物乱用のない社会をつくるために！」	
	講師	NPO法人埼玉ダルク	辻本 俊之
14:50	お礼の言葉	新座市立第二中学校生活委員会委員長	古殿 莉奈
14:50	閉会の言葉	新座市立第二中学校生活委員会	近藤 佑樹
	登壇者	新座市教育委員会教育支援課 副課長	長谷川久和
		新座市立第二中学校校長	伊藤 進
		新座ロータリークラブ前年度会長	小泉 哲也
		新座こぶしロータリークラブ幹事	鹿毛 利久
		新座ロータリークラブ青少年委員長	大塚 雄造



辻本俊之氏の壮絶な実体験を
真剣なまなざしで聞き入っていました

開催の挨拶

新座こぶしロータリークラブ 会長 山田 一郎



皆さんこんにちは！

新座市には、新座ロータリークラブと新座こぶしロータリークラブと言う2つのクラブがあります。この2クラブ合同での開催です。

会員は事業者、色々な事業の経営者、お医者さん等多業種の方々です、ロータリークラブは全世界各国にありまして、世界の有名人で皆さんが知っている方はマイクロソフトの「ビルゲイツ氏」です。

所で「ロータリークラブ」と言う団体を知っている方は居ますでしょうか？知らない方が多いと思います。

団体の目的は何かと言う事ですが、新座地域で日本で世界で奉仕活動をしています。新座市内の地域の中で今回の薬物乱用防止講演会のその一つです。また市民祭り行事等の活動、青少年の日本人の海外留学派遣、外国人の留学生受け入れ、震災、台風被害者への支援等色々な奉仕活動をする事が使命の団体です。

今回は「薬物乱用のない社会を作るために！」を新座市立第二中学校の皆様に聞いて頂きます。講師は、薬物依存症を実際に体験者の埼玉ダルク代表辻本俊之講師に生々しいお話をお聞きします。現在、社会はSNSやインターネット無しでは生きられないような時代です。それだけ知る必要な情報も知らなくても良い情報も手に入ります。SNSを悪用する人間も多くいます、今回はこのような時代の中で薬物依存症の怖さ、体への薬害の怖さ、等を聞いて「正しい情報」「悪い情報」を判別できる様に「自分自身を守る」「正しく生きる人間」にこの講演会から学んでいただきたいと思います。

来賓の挨拶

新座警察署生活安全課 課長 阿部 俊司



新座警察署生活安全課長の阿部です。本日は、講演会にお声掛け頂きありがとうございます。

新座警察署長の風間に代わりまして、私から挨拶とさせていただきます。

薬物犯罪は直接的な被害者がいないことから、一時の好奇心で安易に手を出しやすいといった特徴があります。

しかし、報道などで一部の著名人が乱用し健康を著しく害し、通常の社会生活を過ごせなくなってしまった様子を見た事があると思います。今回の会で、将来を担う子供達がこれからも健やかに生活できるよう薬物の怖さを知って犯罪に巻き込まれないようになればと思います。我々、警察も皆様が安心して生活出来るよう犯罪抑止に努めていきますので、今後もご協力をお願いします。

講師紹介

新座市立第二中学校 教頭 村石 和久



皆様こんにちは。これから講演して頂きます、辻本俊之先生をご紹介させていただきます。

辻本先生は現在、NPO法人埼玉ダルクの施設長をされております。

DARCとは、薬物依存者の薬物依存症からの回復と社会復帰支援を目的とした支援する施設で

あります。

辻本先生は、薬物依存症の方のクスリをやめたという気持ちに寄り添って、社会復帰するまでの長い道のりを、チームで連携を取りながらサポートし、今日まで沢山の方を救っています。

本日は、辻本先生に薬物依存に関する貴重なお話をして頂きます。辻本先生どうぞ宜しくお願いいたします。

みなさん、いかがでしたか？

薬物乱用の危険性について知ることができましたか？いつもは皆さんの健康を保つための薬。それも使い方一つ間違えると大変なことになってしまうことがわかりました。自分の身を自分でしっかり守れるようにしていきましょう。これで薬物乱用防止教室を終わります。

お礼の言葉

古殿 莉奈



本日はお忙しい中、私達二中学生のために薬物乱用防止教室を開いてくださりありがとうございました。今日の講演を聞いて薬物の恐ろしさを改めて知ることができました。

薬物に手を出すと薬物の持つ依存性により、自分の意志ではやめられなくなってしまうことが分かり、少なから大丈夫だろうという安易な考えの危険性を感じました。薬物に手を出さないために誘われてしまっても断ることができる強い気持ちを持とうと思います。これからも自分の行動に責任を持ち、自分自身も周りの人も守れるようにしていきたいです。

本日は貴重なお話をありがとうございました。

生徒さんの感想 (一年生)

1年女子

今回の話は、実際に経験した人しか分からない恐怖もあって改めて薬物を乱用しては、「絶対」にいけないとわかりました。お話の中で衝撃だったのが薬物依存症の原因の1つが普段私たちの健康を保ってくれている飲み薬なども入ることです。どんな薬でも、乱用すると思わぬ事を引き起こす可能性があるとわかりました。どんな事があっても決して危ない薬物には、手を触れず生活していきます！また、もし身の周りの人が乱用していても、「ダメだよ」と言える勇気が必要だと思います。

1年女子

改めてドラッグのおそろしさを知ることができました。依存してしまえば止めることのできないということがこわいなと思いました。例え仲良い人にさそわれても簡単に決めてはいけないし、私も普段から、良くない事や嫌なことをしっかりといえる人になりたいと思えました。

自身の体験談をおっしゃっていただいたことにより、説得力が増し、最初は「当たり前にはやってはいけない」と思っていたけれど今は「絶対に一度でもやってはいけない！」と強い意志を持ってました。このような貴重な機会を大切に、自分の事は自分で守っていけるようにしていきたいです。本日はありがとうございました。

1年男子

今日薬物乱用防止について聞いて、薬物は「治りょう以外で使ってはいけない」ということを学

閉会の言葉

近藤 佑樹



びました。実体験もあったため、とても内容が分かりやすく、これからの自分や他人の人生に関することだと思いました。そして、いじめられないようにしたり、不良と関わらないようにして、友達関係を大切にしていきたいです。薬物を乱用してしまう理というのは、

他人から受けた悲しみだったり、孤独というさみしさからできているということが分かりました。これからは、薬物の事をさそわれても断る力を身に付け、友達関係を大切にしていきたいです。

1年女子

今回の薬物乱用防止教室で、あらためて薬物の怖さが分かりました。今までたくさん薬物は危険という話を聞いたり見たりした事はあるけど、実際に薬物を使ってしまった方の話を聞くのは始めてだったので今まで考えていたこととは全然ちがってもっと恐ろしい物なんだなと知ることができました。薬物を始めた人はほとんどが「少しならだいじょうぶ」や人にすすめられて始めてしまうというパターンが多いと分かったけれど、実際にすすめられたらきっぱりとことわることができるか不安になりました。

たとえ少しの量の薬物でも人生をくるわしてしまうのでもしすすめられても絶対に断れるように精神を強くしたいです。

生徒さんの感想 (二年生)

2年女子

今まで、警察の方に、薬物乱用防止のお話をして頂くことはあったのですが、実際に薬物を使ったことのある方のお話は初めてで、どちらも大切な事を教えてくださっているのに変わりはないけれど、言葉の重みが違うことを感じました。また、違法な薬物でなくても、身近な薬に依存して、薬物乱用の入口になってしまうということを聞いて、“自分が関わらないようにすればいいだけ”という考えを改めるきっかけになりました（最近小中学生にも身近な薬を乱用してしまう人が多いということも聞いてより身近に感じました）。そして、薬物に関係なく、「自分の気持ちをしっ

かり伝えることで、真の友達ができる」という言葉がとても心にしみました。今回の教室で薬物に関する考えも、生活に対する意識も改めることができました。

2年女子

実際に薬物を使ったことがある人の話を聞いて、薬物をつかうことは怖いことだなと思いました。自分でも飲んだことのある風邪薬などでも乱用する人がいる人ことは始めてしりました。身近な人に誘われて薬物をはじめてしまったと言っていたので、断る理由がなくても、自分の身を守るためにやってはいけないことや危険なことは断れるようにしたいなと思いました。薬物は1度てをつけてしまったらやめられないものだと思っていたけれど、今日話をしていた人は、病院に通いつづけてやめられたとっていてすごいと思いました。私も、これから自分の意思をもって生活していきたいなと思いました。今日聞いた話は忘れないようにしたいです！

生徒さんの感想 (三年生)

3年 女子

薬物乱用の危険性を知りました。身近にある治療薬や、病院で処方される薬は、使用目的を間違えると薬物乱用になってしまうと学んだので怖いなと感じました。前後の人と見つめ合ってみて、私は断れないと思いました。クラスメートという信頼関係があるからこそ、信用してしまいます。でも今回の話を聞いて、これではだめだと思いました。誰に誘われても、きっぱり断る強い意志をもつべきだと思います。薬物を乱用する危険性を知って、もし誘ってくる人がいたら、一度相談に行ったほうがいいんじゃない？と一言声かけられるようにしたいです。身近な人が使っているから、という安易な考えが命取りになってしまうので、気をつけたいです。

3年 男子

今回の講演会で学習するまで、薬物は遠くにある存在で、自分は絶対に使わないし、関係のない

話だと思っていた。だが、薬物乱用とは、違法ドラッグに限らず、お酒や風邪薬、ガスなどをルールを守らずに使用することであるのを知り、自分の身近にあるものでも起こりうるんだと驚いた。お話の中であった「薬物乱用の行きつく先は、刑務所、精神病院、そして墓場である。」という言葉が強く印象に残っている。軽い気持ちで使用した先にどんな未来が待っているか。私たちは、それについてよく考える必要があるのだと感じた。

3年 女子

1度使うだけで「薬物乱用」になるというのを知ることができた。辻本さんの体験談はとても怖くて、特に悪循環が起こってしまうのが本当に怖いなと思った。心の中にある「劣等感」や「淋しさ」は私たちにもある気がする。だからこそ、辛いときに話せる家族や友達を持つことが大切だと改めて感じた。薬物をやめることができた事例を今まであまり見たことがなかったが、今回お話を聞いたのでありがたかった。大切な友達に誘われたら絶対に断ることができる自信がないので、もっと強い心を持ちたい。後遺症が残るということや、お酒やガスなども薬物乱用になりうるなど、今まで知らずに誤解をしていたことも正しく知ることができて良かった。

3年 女子

今日は貴重なお話をありがとうございました。学校の授業では、あまり細かいことを学ぶことができないのですが、辻本先生のおかげで、薬物乱用の恐ろしさを学ぶことができました。ずっと、やめられないことが、一番こわいと思っていたのですが実際は、乱用をした後の後遺症が、とても辛いんだということが分かりました。これまでの人生の中で、薬物乱用を経験されているからこそ、私たちにはそうならないでほしかったり、とてもこわいものなんだよと言うのが、すごく伝わりました。

先生のお話は、私が今まで知らなかったことばかりだったので、瞬きが少なくなるほど話に夢中になっていました。本日は、本当にありがとうございました。

3年 女子

本日はお忙しい中、私たちに薬物乱用防止教室を開いてくださり、ありがとうございました。実際にどんなきっかけで薬物を使ってしまったのか、使ってしまうとどんな症状が出たり、後遺症が残ってしまうのか聞くのは初めてだったので、とても貴重なお話を聞くことが出来ました。一回だけなら大丈夫という軽い考えで始めてしまうと、たった一回使用しただけでも自分でやめることが難しいということを知って、改めて薬物乱用の怖さを知ることが出来ました。また、市販の痛み止めや、かぜ薬でも使い方も間違えると薬物乱用になってしまうという事を知って驚きました。誰かに誘われても断わる勇気を持ってこれから過ごしていきたいと思いました。

目録贈呈

新座ロータリークラブ 会長 鈴木 明子



新座・新座こぶし各ロータリークラブより、NPO法人埼玉ダルク様に、薬物乱用防止講演会の10回目を記念し 今後の活動の一助として贈呈

今年度もジェイコムさんに取材して頂きました
6月6日(月)6時のニュースで放送されました
市民新報社さんも取材に来て頂きました 感謝

<http://www.niiza-rc.jp>

新座ロータリークラブ事務局

〒352-0001 新座市東北2-25-11-406

電話 048 (473)7041

FAX 048 (473)9221

Eメール niiza.rc@dance.ocn.ne.jp

国際ロータリー第2570地区 新座ロータリークラブ